



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月3日

上場会社名 株式会社湖池屋
コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,899	26.9	847	215.5	884	210.0	560	292.1
2023年3月期第1四半期	10,163		268		285		143	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 686百万円 (130.6%) 2023年3月期第1四半期 297百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	105.16	
2023年3月期第1四半期	26.82	

(注) 2022年3月期は決算期変更の経過期間であるため、前第1四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,055	15,534	51.0
2023年3月期	29,576	15,194	50.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 15,337百万円 2023年3月期 15,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		65.00	65.00
2024年3月期(予想)		0.00		65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	5.4	1,900	7.1	1,900	5.1	1,250	7.3	234.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	5,335,000 株	2023年3月期	5,335,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	1,005 株	2023年3月期	979 株
------------	---------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	5,334,005 株	2023年3月期1Q	5,334,096 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、国内においては、前連結会計年度に大型リニューアルを敢行した「コイケヤポテトチップス」をはじめとした大半のブランドの販売が好調であり、売上・利益ともに計画を上回る水準で推移しました。

海外においても、価格改定や各種コスト低減が奏功し、大幅に利益が拡大しました。業績は次のとおりです。

売上高は、12,899百万円（前年同期比26.9%増）となりました。利益につきましては、営業利益847百万円（前年同期比215.5%増）、経常利益884百万円（前年同期比210.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益560百万円（前年同期比292.1%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

<国内>

2024年3月期は、「高付加価値商品等の継続拡販」「物価高騰対策及び製造体制の強化」「継続的な新機軸商品開発」を、3つの戦略テーマに据え事業展開を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にブランドの現代化及びコモディティ化脱却を目的にフルリニューアルを実施した「コイケヤポテトチップス」の販売が好調でした。その他にも、「湖池屋プライドポテト」や「The KOIKEYAシリーズ」などの高付加価値商品群も好調に推移し、計画を大きく上回る売上となりました。

商品戦略としては、「湖池屋プライドポテト」、「じゃがいも心地 (PURE POTATO)」、「湖池屋ストロング」など、それぞれのブランドで継続的に新商品を投入するなど、高付加価値ブランドを中心に販売を組み立てました。また、分食や軽食などの食シーン需要に対して個包装にした「濃いじゃが」を、エリア限定販売から拡大して全国発売するなど、新機軸商品による新市場創造へも継続して取り組んでおります。

一方、継続的な物価上昇の影響がありますが、体制見直しによる生産・物流の最適化をはじめとしたコスト削減施策を講じるとともに、商品品質の維持と安定的な利益確保のために価格改定を行いました。

以上のとおり、コスト増加の影響がありながらも売上を大きく拡大した結果、国内の売上高は11,561百万円（前年同期比29.5%増）となり、セグメント利益は754百万円（前年同期比170.4%増）となりました。

<海外>

台湾事業では、台湾国産馬鈴薯が不足している状況ではあるものの、各種ポテトチップスの大幅な価格改定を遂行することで売上・利益ともに好調に推移しております。また、馬鈴薯以外を原料とした新商品発売も計画しており、ポテトチップス以外の商品群の販売比率を高めることで、馬鈴薯原料への依存度を低下させるべく施策を検討しております。

ベトナム事業では、輸出事業の好調に伴い、売上を大幅に拡大しております。また、価格改定や各種コスト削減施策も奏功したことで、利益も大幅に改善しております。

タイ事業では、現地流通大手との取り組みの活発化に加えて地方のスーパーや個人商店への販路拡大により、売上を拡大しております。また、商品規格の見直しなどの原価低減にも取り組んでおり、利益確保に努めております。

以上により、海外の売上高は1,337百万円（前年同期比8.2%増）となり、セグメント利益は96百万円（前年同期比93.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ478百万円増加し、30,055百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（358百万円）及び商品及び製品の増加（140百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ139百万円増加し、14,521百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の減少（305百万円）及び返金負債の減少（290百万円）の一方、買掛金の増加（658百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ339百万円増加し、15,534百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（214百万円）によるものであります。なお、自己資本比率は51.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,510	4,446
受取手形及び売掛金	8,684	9,042
商品及び製品	1,335	1,476
仕掛品	51	71
原材料及び貯蔵品	790	615
その他	438	583
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	15,809	16,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,481	4,450
機械装置及び運搬具（純額）	4,859	4,702
土地	2,193	2,199
その他（純額）	158	416
有形固定資産合計	11,691	11,768
無形固定資産		
その他	275	260
無形固定資産合計	275	260
投資その他の資産		
その他	1,799	1,791
投資その他の資産合計	1,799	1,791
固定資産合計	13,766	13,821
資産合計	29,576	30,055
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,266	4,924
短期借入金	500	500
未払金	1,960	2,297
返金負債	2,374	2,083
未払法人税等	512	319
賞与引当金	347	41
役員賞与引当金	—	6
その他	1,108	1,148
流動負債合計	11,069	11,321
固定負債		
長期借入金	746	640
退職給付に係る負債	1,928	1,937
その他	639	623
固定負債合計	3,313	3,200
負債合計	14,382	14,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	10,603	10,817
自己株式	△3	△3
株主資本合計	15,023	15,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	9
為替換算調整勘定	118	187
退職給付に係る調整累計額	△102	△97
その他の包括利益累計額合計	24	99
非支配株主持分	145	196
純資産合計	15,194	15,534
負債純資産合計	29,576	30,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,163	12,899
売上原価	7,230	8,918
売上総利益	2,933	3,980
販売費及び一般管理費	2,665	3,132
営業利益	268	847
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	8	9
持分法による投資利益	3	0
補助金収入	0	56
その他	12	10
営業外収益合計	25	77
営業外費用		
支払利息	2	1
固定資産除却損	6	36
その他	—	2
営業外費用合計	8	40
経常利益	285	884
税金等調整前四半期純利益	285	884
法人税等	104	283
四半期純利益	181	601
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	143	560

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	181	601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	105	79
退職給付に係る調整額	5	5
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△0
その他の包括利益合計	116	85
四半期包括利益	297	686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	635
非支配株主に係る四半期包括利益	55	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,927	1,236	10,163	—	10,163
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,927	1,236	10,163	—	10,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	75	27	103	△103	—
計	9,002	1,264	10,267	△103	10,163
セグメント利益	278	49	328	△60	268

(注) 1. セグメント利益の調整額△60百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,561	1,337	12,899	—	12,899
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,561	1,337	12,899	—	12,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	45	61	△61	—
計	11,578	1,382	12,960	△61	12,899
セグメント利益	754	96	850	△3	847

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。